



福岡県医第250号(地)

平成29年4月19日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

2017年度国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター研修募集要項の送付について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

エイズ治療・研究開発センターでは1997年度から、エイズ治療拠点病院を中心とする各医療機関の医療従事者を対象に、育成を目的とした研修を実施しておりますが、今般、2017年度におきましても、別紙「募集要項」に基づき研修生を募集する旨、案内がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会会員に対する周知方お願いいたします。

【照会先】

国立国際医療研究センター病院

エイズ治療・研究開発センター

医療情報室研修相談係 柳下 敏男

TEL 03-3202-7181 (内線 2323)

FAX 03-3208-4244 (医療情報室直通)

E-mail tyagishi@acc.ncgm.go.jp

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 淡河喜雄
会長 白石恒明

際研セン発第 290330001-6 号

平成 29 年 3 月 30 日

各医師会 会長 様

国立研究開発法人国立国際医療研究センター理事長

2017 年度 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター研修募集要項の送付について

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・開発研究センターの運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

エイズ治療・研究開発センターでは 1997 年度から、エイズ治療拠点病院を中心とする各医療機関の医療従事者を対象に、育成を目標とした研修を実施しております。2017 年度におきましても同封の募集要項のとおり研修生を募集することになりましたのでご案内申し上げます。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、貴会所属会員様への周知についてご配慮いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、エイズ治療拠点病院へは別途文書にてお知らせしておりますので、念のため申し添えます。

募集要項、申込書等につきましては、既に国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センターのウェブサイト (<http://www.acc.ncgm.go.jp/>) 内「研修のご案内」への掲載をしております。

(照会先)

国立国際医療研究センター病院

エイズ治療・研究開発センター

医療情報室研修相談係 柳下敏男

TEL 03-3202-7181 (内線 2323)

FAX 03-3208-4244 (医療情報室直通)

E-mail tyagishi@acc.ncgm.go.jp

2017 年度

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター研修

募集要項



1. エイズ治療・研究開発センター(ACC)の概要

エイズ治療・研究開発センター(AIDS Clinical Center: ACC)は、薬害エイズ訴訟の和解を受けて、HIV 感染症に関する恒久的な医療提供の中心的な役割を担うべく1997年国立国際医療センター(当時)内に設置され、HIV 感染症に対する臨床、研究、情報提供、研修の4つの主な機能を有しています。HIV 感染症/AIDSに関する最先端医療の提供と、全国的な診療レベルの向上・均てん化を図るため、国内外のHIV診療、研究機関との協力体制のもと、ブロック拠点病院並びに全国約380ヶ所の拠点病院との連携を進めています。

2. エイズ治療・研究開発センター研修とは

エイズ治療・研究開発センター研修は、HIV 感染者の診療・看護等の実務を担う医療従事者の育成および全国ネットワークの構築を目的として行っています。2017年度は以下の8コースを開催します。

(1) 1週間コース(医師／看護師／薬剤師)	(年4回開催・5日間)
(2) 歯科コース	(年4回開催・3日間)
(3) 短期コース	(年4回開催・2日間)
(4) 短期・基礎コース	(年1回開催・2日間)
(5) アップデートコース	(年1回開催・1日間)
(6) 1ヶ月コース(コーディネーターナースコース)	(年1回開催・1ヶ月間)
(7) 周産期・小児医療コース	(年1回開催・1日間)
(8) 地域支援者コース	(年1回開催・1日間)

3. 各コースの概要

(1) 1週間コース(医師・看護師・薬剤師)(別紙プログラム1-①～④)

(2) 歯科コース(別紙プログラム2)

講義、専門外来・病棟等における実習・見学、さらにHIV感染者との対話を通じて患者理解を深めることができる、専門的な研修です。HIV 感染症/AIDSに関する基礎的・専門的知識と技術を身に付けることを目的としています。

※ 看護師コース、歯科コースの参加者には、受講決定時に「事前アンケート」「研修時に行うプレゼンテーションの準備」を依頼します。

※ 各ブロック拠点病院が実施している研修の修了後に受講されるとより理解しやすい内容となっています。

(3) 短期コース(別紙プログラム3)

(4) 短期・基礎コース(別紙プログラム4)

HIV 感染症診療の経験が乏しい、あるいはこれから初めてHIV 感染症診療に携わる医療従事者を対象に、短時間で効率的にHIV 感染症/AIDSの基礎について学ぶためのコースです。

※ 短期コースと短期・基礎コースはほぼ同じ内容です。

※ 短期コースは、1週間コースの前半2日間と合同で行われます。

(5) アップデートコース(別紙プログラム 5)

HIV 感染症診療に関わる直近数年間の情報(治療ガイドライン・新規薬剤・問題となっている合併症など)に絞って、短時間で効率的に知識をアップデートするためのコースです。

※ HIV 感染症/AIDSに関する実診療経験が乏しい方には、本コースではなく、(3)短期コース／(4)短期・基礎コース への参加をお勧めいたします。

※ 講義内容は、前年度の内容とほぼ同一となる可能性があります。

(6) 1ヶ月コース(看護師)(別紙プログラム 6)

コーディネーターナースとしての実務に関して学ぶコースです。

※ はじめの1週間は1週間コース【看護師(外来)】と合同で行い、続く3週間でコーディネーターナース業務(患者教育、相談対応に必要な連携・調整)に特化した研修を行います。

(7) 周産期・小児医療コース(別紙プログラム 7)

HIV 感染女性の妊娠・出産および小児の診療・ケアに特化したコースです。

(8) 地域支援者コース(別紙プログラム 8)

長期生存時代の HIV 感染者の療養支援、医療機関との連携について学ぶコースです。

4. 対象者

(1) 1週間コース【医師】【看護師(外来)】【看護師(病棟)】【薬剤師】

(2) 歯科コース【歯科医師】【歯科衛生士・歯科勤務の看護師】

現在の勤務先医療機関(もしくは行政機関)等において、HIV 感染者の診療(看護・服薬指導・歯科診療・口腔ケア)や HIV 感染症/AIDS 対策に携わる実務担当者(予定を含む)等で、研修修了後も継続的に実務担当者、指導者として携われる者。

※ 専門的知識向上、チーム医療を率先実施する医療体制の整備を目的としているため、応募者多数の場合は、以下の要件 A と B の複数該当者を研修受入の優先要件とします。

A. ブロック拠点病院担当者、もしくは拠点病院からの応募者

B. 同一施設より医師と看護師(歯科コースは歯科医師と歯科衛生士・歯科勤務の看護師)の複数にて同一日程で申込をしている者

※ さらに、看護師においては、以下の C と D の優先要件があります。

C. 各ブロック拠点病院が主催する HIV/AIDS 研修の受講者【看護師(外来)】

D. HIV 感染者の看護経験を有し、看護師経験が 5 年以上の者【看護師(病棟)】

(3) 短期コース【医師】【看護師等】【薬剤師】

(4) 短期・基礎コース【医師】【看護師等】【薬剤師】

HIV 感染症診療の経験が乏しい、あるいはこれから初めて HIV 感染症診療(医療・看護・服薬指導等)に携わる医療従事者、行政機関における HIV 感染症/AIDS 対策の担当者、または HIV 感染症/AIDS の基礎について短期間で学習したい医療従事者。

※ (4)「短期・基礎コース」は、国立病院機構本部が主催する「HIV 感染症研修会」と同一内容であるため、北海道・東北ブロック・関東甲信越ブロックに所属する国立病院機構施設の職員に

おかれましては、後日同機構本部において募集する研修会に応募するようお願いいたします。

- ※ 薬剤師に関して、応募者多数の場合は、「ブロック拠点病院担当者、もしくは拠点病院担当者、または HIV 感染者の院外処方を多数受けている保険調剤薬局担当者」に該当する方を受入の優先要件とします。

(5) アップデートコース【医師】【看護師等】【薬剤師】

HIV 感染症診療経験を有する医療従事者。

- ※ HIV 感染症/AIDS に関するある程度の知識と実務経験を有する前提で講義が行われますので、基礎的な研修の受講経験のない方は、まず (3)短期コース／(4)短期・基礎コース やブロック／中核拠点病院主催の研修を受講されることをお勧めいたします。

(6) 1ヶ月コース(コーディネーターナースコース)【看護師】

「ウイルス疾患管理料 2」の加算を算定できる(あるいは今後施設基準要件を満たすことが見込まれる)医療機関の施設長が推薦する HIV/AIDS ケアの担当看護師(候補者を含む)で、研修修了後も継続的に看護等の実務担当者、指導者として携われる者。

- ※ HIV 感染症/AIDS に関する専門的知識向上、チーム医療を率先実施する医療体制の整備を目的としているため、対象者多数の場合は以下の要件 A と B の複数該当者を優先とします。
 - A. ブロック拠点病院担当者、もしくは中核拠点病院担当者
 - B. 各ブロック拠点病院が主催する HIV 感染症/AIDS 研修の受講者

(7) 周産期・小児医療コース

勤務先医療機関において、主として HIV 感染者の診療(看護・服薬指導)や HIV 感染症/AIDS 対策に携わる実務担当者等で、受講後も継続的に実務担当者、指導者として携われる者。

(8) 地域支援者コース

勤務先で HIV 感染者の療養支援に携わる実務担当者、または将来的に携わる予定の者。もしくは行政機関にて HIV 感染者の療養支援について学習したい者。

5. 開催日程・募集人数・応募期間

各コースの開催日程	募集人数(1回あたり)	応募締切
1. 一週間コース ① 2017年6月5日～6月9日 ② 2017年7月3日～7月7日 ③ 2017年9月11日～9月15日 ④ 2017年10月2日～10月6日	【医師】6名 【看護師(外来)】3名 【看護師(病棟)】3名 【薬剤師】2名程度(応相談)	① 2017年4月21日(金) ② 2017年5月19日(金) ③ 2017年7月28日(金) ④ 2017年8月18日(金)
2. 歯科コース ① 2017年6月5日～6月7日 ② 2017年7月3日～7月5日 ③ 2017年9月11日～9月13日 ④ 2017年10月2日～10月4日	【歯科医師】2名 【歯科衛生士・歯科看護師】2名	
3. 短期コース ① 2017年6月5日～6月6日 ② 2017年7月3日～7月4日 ③ 2017年9月11日～9月12日 ④ 2017年10月2日～10月3日	【医師】6名 【看護師等¹⁾】6名 【薬剤師】8名	
4. 短期・基礎コース 2018年1月25日～1月26日	【医師】【看護師等¹⁾】【薬剤師】 計50名	2017年12月8日(金)
5. アップデートコース 2017年9月22日	【医師】【看護師等¹⁾】【薬剤師】 計50名	2017年7月21日(金)
6. 1ヶ月コース 要相談 ²⁾	【看護師】2名程度(応相談)	2017年7月28日(金) (日程調整の都合上、ご希望の方は早めに御相談下さい)
7. 周産期・小児医療コース 2017年11月10日	【医師(産科又は小児科)】 【看護師(産科又は小児科)または助産師³⁾】	2017年9月15日(金)
8. 地域支援者コース 2017年10月20日	【保健師】【訪問看護師】【ホームヘルパー】【障がい者施設等職員⁴⁾】【行政職員⁵⁾】	2017年9月1日(金)

- 「看護師等」とは、看護師資格を有する職種(看護師・助産師・保健師)のほか、ソーシャルワーカー、カウンセラー等のコメディカルスタッフを含みます。
- 最初の1週間は1週間コース【看護師(外来)】と合同で行います。4週連続での受講が難しい場合には、受入時期の調整や研修日程の分割など御相談に応じますので、早めにお問い合わせください。
- 産科の医師と看護師・助産師、又は小児科の医師と看護師との合同での受講をお勧めしますが、1施設1名でも応募可能です。
- 障がい者施設等職員には、老人保健施設職員を含みます。
- 行政職員とは、官公庁またはそれに準じる勤務先で医療福祉関係の業務に携る職員をいいます。
- 各コースとも、受入人員については申込状況に応じ増減調整をする場合があります。

6. 申込方法

ACC ウェブサイト (<http://www.acc.go.jp/>) の「研修のご案内」ページから、研修申込書 (ApplicationForm2017.xlsx) をダウンロードしてください。これに必要事項を入力し印刷したものに、所属施設長(各都道府県単位でとりまとめ申し込みされる際はその役職者) の公印を押印のうえ、応募期間内に郵送(必着)で提出してください。

* Microsoft Excel を利用できない環境にある方は、「研修のご案内」から PDF 版の研修申込書をダウンロードし、必要事項を記載して下さい(3 ページ目をご参照下さい)。

* インターネット接続環境がない場合には研修相談係までご連絡下さい。

また事務担当者様におかれましては、入力済の Excel ファイル(1-2 ページ)を「PDF として保存*」したものを (PDF 版研修申込書をご利用の場合は記入後保存したもの) を、研修相談係のメールアドレス (seminar@acc.ncgm.go.jp) 宛に添付ファイルとして別途送付して下さい(公印不要)。

* Microsoft Excel では「ファイル」→「名前を付けて保存」→「ファイルの種類」で PDF を選択可能

[注意事項]

- ※ 応募封筒には「エイズ治療・研究開発センター研修申込書 在中」と朱書してください。
- ※ 受入の可否は、当該研修開始の 1 ヶ月前までに、各申込施設長宛に文書で通知します。
- ※ 各コースとも、受入人員については申込状況に応じ増減調整をする場合があります。
- ※ 1 週間コース、歯科コース、短期コースの申込については、各回の応募期限内に到達した申込書により当該回の選考を行います。当該回の選考に漏れた場合は、次回の選考に組み入れます。
- ※ 複数のコース(例: 1 週間コースと周産期・小児医療コース)の受講をご希望の方は、コース毎に申込書を作成して下さい(郵送はひとつの封筒で構いません)。
- ※ 受講が決定した方には、名札・受講者名簿作成のため顔写真データの送付を依頼しますので、ご了解下さい。詳細は受講決定通知書の送付時にお知らせします。
- ※ 申込書に記入いただいた個人情報は、受講者選考および各施設への受入可否連絡と、必要時の御本人への連絡の目的以外に使用することはありません。
- ※ その他不明な事項については、「10. 申込書送付先・問い合わせ先」に照会してください。

7. 研修参加費・旅費・宿泊施設

無料。ただし、旅費(交通費)、宿泊費は各自ご負担下さい。

宿泊施設は、必要に応じ各自で手配して下さい。

※ エイズ拠点病院職員における旅費(交通費、宿泊費)申請等については、所属施設または都道府県等のエイズ対策業務担当課に確認してください。

8. テキスト・必要資料

テキスト等必要資料は研修開始時に配布します。

- ※ 研修参加にあたっては、自施設における HIV 感染症診療の状況の概要を把握するとともに、専門用語(疾患名・薬剤名とその略称)についても各自ある程度の予習をお願いします。
- ※ 予習にあたっては、ACC が公開している以下の電子資料もご活用下さい。
(いずれも ACC ウェブサイト トップページにリンクが設置されています)

「HIV 感染症とその合併症 診断と治療ハンドブック」(主に医師向けの資料)

「からだ・こころ・くらしノート」「くすりノート」(主に患者さん向けの資料)

「HIV/AIDS e ラーニング・プログラム」(毎年全国数ヶ所で開催している「出張研修」と同内容)

- ※ 医療職の方におかれましては、以下の 2 点の日本語資料に簡単に目を通していただくことも有用です(いずれも PDF を無料でダウンロードすることができます)。

厚生労働省研究班「抗 HIV 治療ガイドライン」 <http://www.haart-support.jp/guideline.htm>

日本エイズ学会 HIV 感染症治療委員会「治療の手引き」 <http://www.hivjp.org/>

(両資料とも膨大な内容ですので、予習としての精読は不要です)

9. 修了証(受講証)・集合写真撮影について

研修受講者には、最終日に修了証(一部コースでは受講証)を授与します。

理事長名での修了証が発行される「1 週間コース」および「歯科コース」については、修了証授与後、記録のため集合写真を撮影させていただきます。

- ※ ACC 研修の各コースは、日本エイズ学会「学会認定医・指導医」、同「認定 HIV 感染症看護師・認定 HIV 感染症指導看護師」における「指定の研修会」に該当し、各コースの修了者は、受講時間に応じて認定取得・更新の際に必要な単位を取得できます。

詳細は日本エイズ学会のウェブサイト(<http://jaids.umin.ac.jp/>)でご確認下さい。

- ※ 1 週間コース、短期コース、短期・基礎コース、アップデートコースは、日本病院薬剤師会が認定する HIV 感染症薬物療法認定薬剤師の認定申請資格 (6)HIV 感染症領域の講習会に該当します。

詳細は日本病院薬剤師会のウェブサイト(<http://www.jshp.or.jp/>)で御確認下さい。

10. 申込書送付先・問い合わせ先

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

エイズ治療・研究開発センター医療情報室 研修相談係

TEL 03-3202-7181(内線 2323)

FAX 03-3208-4244(医療情報室直通)

E-mail: seminar@acc.ncgm.go.jp

ACC ウェブサイト <http://www.acc.go.jp/>

(「研修のご案内」へのリンクから該当ページに移動して申込書等をダウンロードできます)

[注意事項]

※ 受講決定可否の経緯に関する内容、個人情報に関する内容については回答できません。

※ 電話での問い合わせは、平日の原則 10:00~12:00、14:00~16:00 をお願いいたします。

※ E-mail/FAX での問い合わせについては 24 時間受付可能ですが、回答は原則として翌日以降となります。問い合わせには必ず所属施設名、氏名、連絡先を記載してください。所属施設名等の記載がない場合は、返信(回答)出来ない場合があります。

	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
午前	集合・受付(ACC紹介DVD上映) 08:30(会議室1) オリエンテーション・研修生自己紹介 08:45 - 09:00(会議室1) イントロダクション 09:00 - 09:20(会議室1) HIV感染症の基礎(データのみかた) 09:30 - 10:30(会議室1) 抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付 08:20(会議室1) HIV感染症診療における心理士の役割 08:30 - 09:00(会議室1) 抗HIV薬による感染予防(曝露事故対応) 09:10 - 09:50(会議室1) 性感染症 10:00 - 10:50(会議室1) 患者理解「患者の体験に学ぶ」 11:00 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) カポジ肉腫(HHV-8関連疾患) 09:00 - 09:40(会議室1) サイトメガロウイルス・VZV 09:50 - 10:30(会議室1) ケーススタディ(抗HIV療法導入) 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) ニューモシス肺炎 09:00 - 09:50(会議室1) 抗酸菌感染症(TB, NTM) 10:00 - 10:50(会議室1) AIDS関連リンパ腫 11:00 - 11:50(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) 女性・小児とHIV感染症 09:00 - 09:50(会議室1) HIV感染症の検査と告知 10:00 - 10:50(会議室1) 血液曝露事故の管理者対応 11:00 - 11:50(会議室2)
昼食 休憩	11:40 - 12:30	11:40 - 12:20	11:40 - 12:30	11:50 - 13:00	総括/質疑応答/修了証授与 12:00 - 13:00(会議室1)
午後	薬物相互作用の管理 12:30 - 13:00(会議室1) 抗HIV療法(ガイドライン) 13:10 - 14:10(会議室1) HIV感染症診療における包括ケア 14:20 - 15:00(会議室1) HIV感染症診療における社会資源の活用 15:10 - 15:50(会議室1) 日和見疾患総論・免疫再構築症候群 16:00 - 17:00(会議室1)	血友病の管理 12:20 - 13:20(会議室1) 薬害被害の現状と課題 13:30 - 13:50(会議室1) 外来カンファレンス 14:00 - 14:30(ACC会議室) 外来オリエンテーション 14:30 - 14:40(専門外来) 社会福祉法人はばたき福祉事業団講義 15:00 - 17:00(ACC会議室)	ケーススタディ 12:30 - 14:00(病棟) 入院カンファレンス、病棟回診 14:00 - 16:00(病棟) 中枢神経の日和見疾患(TE, PML, Crypto) 16:00 - 17:00(会議室2)	ケーススタディ 13:00 - 14:50(会議室1) 外来療養支援(サポート形成支援) 15:00 - 15:50(会議室1) 肝炎 16:00 - 17:00(会議室1)	

	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
午前	集合・受付(ACC紹介DVD上映) 08:30(会議室1) オリエンテーション・研修生自己紹介 08:45 - 09:00(会議室1) イントロダクション 09:00 - 09:20(会議室1) HIV感染症の基礎(データのみかた) 09:30 - 10:30(会議室1) 抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付 08:20(会議室1) HIV感染症診療における心理士の役割 08:30 - 09:00(会議室1) 抗HIV薬による感染予防(曝露事故対応) 09:10 - 09:50(会議室1) 性感染症 10:00 - 10:50(会議室1) 患者理解「患者の体験に学ぶ」 11:00 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(ACC会議室) <u>病棟看護オリエンテーション</u> 09:00 - 09:45(病棟) <u>コーディネーターナース(CN)活動見学</u> 10:00 - 13:00(専門外来・相談室他)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) ニューモシス肺炎 09:00 - 09:50(会議室1) 抗酸菌感染症(TB, NTM) 10:00 - 10:50(会議室1) AIDS関連リンパ腫 11:00 - 11:50(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) 女性・小児とHIV感染症 09:00 - 09:50(会議室1) HIV感染症の検査と告知 10:00 - 10:50(会議室1) 実習のまとめ 11:00 - 11:50(会議室1)
昼食 休憩	11:40 - 12:30	11:40 - 12:20	13:00 - 13:50	11:50 - 13:00	総括/質疑応答/修了証授与 12:00 - 13:00(会議室1)
午後	薬物相互作用の管理 12:30 - 13:00(会議室1) 抗HIV療法(ガイドライン) 13:10 - 14:10(会議室1) HIV感染症診療における包括ケア 14:20 - 15:00(会議室1) HIV感染症診療における社会資源の活用 15:10 - 15:50(会議室1) 日和見疾患総論・免疫再構築症候群 16:00 - 17:00(会議室1)	血友病の管理 12:20 - 13:20(会議室1) 薬害被害の現状と課題 13:30 - 13:50(会議室1) 外来カンファレンス 14:00 - 14:30(ACC会議室) 外来オリエンテーション 14:30 - 14:40(専門外来) 社会福祉法人はばたき福祉事業団講義 15:00 - 17:00(ACC会議室)	外来療養支援① 患者教育 - 服薬支援 13:50 - 14:50(会議室1) 外来療養支援② 連携・調整 14:50 - 15:50(会議室1) ※コーディネーターナースから病棟、地域との 連携事例を提示し、意見交換を行う 外来の看護 16:00 - 17:00(会議室1)	ケースカンファレンス 13:00 - 14:50(会議室2) ※外来コース研修者が所属する施設の症例を 提示し、各研修者・CNと意見交換を行う 外来療養支援(サポート形成支援) 15:00 - 15:50(会議室1) 肝炎 16:00 - 17:00(会議室1)	

	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
午前	集合・受付(ACC紹介DVD上映) 08:30(会議室1) オリエンテーション・研修生自己紹介 08:45 - 09:00(会議室1) イントロダクション 09:00 - 09:20(会議室1) HIV感染症の基礎(データのみかた) 09:30 - 10:30(会議室1) 抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付 08:20(会議室1) HIV感染症診療における心理士の役割 08:30 - 09:00(会議室1) 抗HIV薬による感染予防(曝露事故対応) 09:10 - 09:50(会議室1) 性感染症 10:00 - 10:50(会議室1) 患者理解「患者の体験に学ぶ」 11:00 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(ACC会議室) <u>病棟看護オリエンテーション</u> 09:00 - 09:45(病棟) <u>病棟実習</u> 09:50 - 11:30(病棟) ※病棟実習の具体的なタイムスケジュール については病棟看護オリエンテーション時 に配布	集合・受付・移動 08:50(会議室1) ニューモシスチス肺炎 09:00 - 09:50(会議室1) 抗酸菌感染症(TB, NTM) 10:00 - 10:50(会議室1) AIDS関連リンパ腫 11:00 - 11:50(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) 女性・小児とHIV感染症 09:00 - 09:50(会議室1) HIV感染症の検査と告知 10:00 - 10:50(会議室1) 実習のまとめ 11:00 - 11:50(会議室1)
昼食 休憩	11:40 - 12:30	11:40 - 12:20	11:30 - 12:30	11:50 - 13:00	総括/質疑応答/修了証授与 12:00 - 13:00(会議室1)
午後	薬物相互作用の管理 12:30 - 13:00(会議室1) 抗HIV療法(ガイドライン) 13:10 - 14:10(会議室1) HIV感染症診療における包括ケア 14:20 - 15:00(会議室1) HIV感染症診療における社会資源の活用 15:10 - 15:50(会議室1) 日和見疾患総論・免疫再構築症候群 16:00 - 17:00(会議室1)	血友病の管理 12:20 - 13:20(会議室1) 薬害被害の現状と課題 13:30 - 13:50(会議室1) 外来カンファレンス 14:00 - 14:30(ACC会議室) 外来オリエンテーション 14:30 - 14:40(専門外来) 社会福祉法人はばたき福祉事業団講義 15:00 - 17:00(ACC会議室)	<u>病棟実習</u> 12:30 - 15:30(病棟) ・日和見疾患の看護 (PCP, PML, 悪性リンパ腫等) ・患者教育 ・患者との面談 ※ 入院状況により内容変更あり 外来の看護 16:00 - 17:00(会議室1)	ケースカンファレンス 13:00 - 14:50(会議室2) ※外来コース研修者が所属する施設の症例を 提示し、各研修者・CNと意見交換を行う 外来療養支援(サポート形成支援) 15:00 - 15:50(会議室1) 肝炎 16:00 - 17:00(会議室1)	

	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
午前	集合・受付(ACC紹介DVD上映) 08:30(会議室1) オリエンテーション・研修生自己紹介 08:45 - 09:00(会議室1) イントロダクション 09:00 - 09:20(会議室1) HIV感染症の基礎(データのみかた) 09:30 - 10:30(会議室1) 抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付 08:20(会議室1) HIV感染症診療における心理士の役割 08:30 - 09:00(会議室1) 抗HIV薬による感染予防(曝露事故対応) 09:10 - 09:50(会議室1) 性感染症 10:00 - 10:50(会議室1) 患者理解「患者の体験に学ぶ」 11:00 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) カポジ肉腫(HHV-8関連疾患) 09:00 - 09:40(会議室1) サイトメガロウイルス・VZV 09:50 - 10:30(会議室1) ケーススタディ(抗HIV療法導入) 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) ニューモシスチス肺炎 09:00 - 09:50(会議室1) 抗酸菌感染症(TB, NTM) 10:00 - 10:50(会議室1) AIDS関連リンパ腫 11:00 - 11:50(会議室1)	集合・受付・移動 08:50(会議室1) 女性・小児とHIV感染症 09:00 - 09:50(会議室1) HIV感染症の検査と告知 10:00 - 10:50(会議室1) 実習のまとめ 11:00 - 11:50(薬剤部)
昼食 休憩	11:40 - 12:30	11:40 - 12:20	11:40 - 12:30	11:50 - 13:00	総括/質疑応答/修了証授与 12:00 - 13:00(会議室1)
午後	薬物相互作用の管理 12:30 - 13:00(会議室1) 抗HIV療法(ガイドライン) 13:10 - 14:10(会議室1) HIV感染症診療における包括ケア 14:20 - 15:00(会議室1) HIV感染症診療における社会資源の活用 15:10 - 15:50(会議室1) 日和見疾患総論・免疫再構築症候群 16:00 - 17:00(会議室1)	血友病の管理 12:20 - 13:20(会議室1) 薬害被害の現状と課題 13:30 - 13:50(会議室1) 外来カンファレンス 14:00 - 14:30(ACC会議室) 外来オリエンテーション 14:30 - 14:40(専門外来) 社会福祉法人はばたき福祉事業団講義 15:00 - 17:00(ACC会議室)	病棟実習 12:30 - 14:00(病棟) 入院カンファレンス、病棟回診 14:00 - 16:00(病棟) 中枢神経の日和見疾患(TE, PML, Crypto) 16:00 - 17:00(会議室2)	ケーススタディ 13:00 - 14:50(会議室1) 外来療養支援(サポート形成支援) 15:00 - 15:50(会議室1) 肝炎 16:00 - 17:00(会議室1)	

2017年度 歯科コース プログラム

※ 診療衣(白衣)着用のプログラムについては下線で表示

	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)
午前	集合・受付(ACC紹介DVD上映) 08:30(会議室1) オリエンテーション・研修生自己紹介 08:45 - 09:00(会議室1) イントロダクション 09:00 - 09:20(会議室1) HIV感染症の基礎(データのみかた) 09:30 - 10:30(会議室1) 抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割 10:40 - 11:40(会議室1)	集合・受付 08:20(会議室1) HIV感染症診療における心理士の役割 08:30 - 09:00(会議室1) 抗HIV薬による感染予防(曝露事故対応) 09:10 - 09:50(会議室1) 性感染症 10:00 - 10:50(会議室1) 患者理解「患者の体験に学ぶ」 11:00 - 11:40(会議室1)	集合・受付・移動 09:40(ACC会議室) 歯科受診支援 09:50 - 10:50(ACC会議室) 歯科総論 11:00 - 12:00(ACC会議室)
昼食 休憩	11:40 - 12:30	11:40 - 12:20	12:00 - 13:00
午後	薬物相互作用の管理 12:30 - 13:00(会議室1) 抗HIV療法(ガイドライン) 13:10 - 14:10(会議室1) HIV感染症診療における包括ケア 14:20 - 15:00(会議室1) HIV感染症診療における社会資源の活用 15:10 - 15:50(会議室1) 日和見疾患総論・免疫再構築症候群 16:00 - 17:00(会議室1)	血友病の管理 12:20 - 13:20(会議室1) 薬害被害の現状と課題 13:30 - 13:50(会議室1) 外来カンファレンス 14:00 - 14:30(ACC会議室) 外来オリエンテーション 14:30 - 14:40(専門外来) 社会福祉法人はばたき福祉事業団講義 15:00 - 17:00(ACC会議室)	歯科各論/DVD紹介 13:00 - 14:00(ACC会議室) 歯科外来見学 14:15 - 14:50 総括/質疑応答/修了証授与 15:00 - 16:00(ACC会議室)

2017年度 短期コース プログラム

	1日目(月)	2日目(火)
午前	集合・受付(ACC紹介DVD上映) 08:30(研究所大会議室AB) オリエンテーション・研修生自己紹介 08:45 - 09:00(研究所大会議室AB) イントロダクション 09:00 - 09:20(研究所大会議室AB) HIV感染症の基礎(データのみかた) 09:30 - 10:30(研究所大会議室AB) 抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割 10:40 - 11:40(研究所大会議室AB)	集合・受付 08:20(研究所大会議室AB) HIV感染症診療における心理士の役割 08:30 - 09:00(研究所大会議室AB) 抗HIV薬による感染予防(曝露事故対応) 09:10 - 09:50(研究所大会議室AB) 性感染症 10:00 - 10:50(研究所大会議室AB) 患者理解「患者の体験に学ぶ」 11:00 - 11:40(研究所大会議室AB)
昼食 休憩	11:40 - 12:30	11:40 - 12:20
午後	薬物相互作用の管理 12:30 - 13:00(研究所大会議室AB) 抗HIV療法(ガイドライン) 13:10 - 14:10(研究所大会議室AB) HIV感染症診療における包括ケア 14:20 - 15:00(研究所大会議室AB) HIV感染症診療における社会資源の活用 15:10 - 15:50(研究所大会議室AB) 日和見疾患総論・免疫再構築症候群 16:00 - 17:00(研究所大会議室AB)	血友病の管理 12:20 - 13:20(研究所大会議室AB) 薬害被害の現状と課題 13:30 - 13:50(研究所大会議室AB) 総括/質疑応答/修了証授与 14:00 - 14:50(研究所大会議室AB) 専門外来施設見学* 社会福祉法人はばたき福祉事業団講義* 15:00 - 17:00(ACC会議室) * 希望者のみ

2017年度短期・基礎コースプログラム

1日目（木曜日）

時 間	講 義 内 容	講師氏名	役 職
9:00 - 9:15	集合・受付・ACC紹介DVD上映		
9:15 - 9:20	オリエンテーション		研修相談係
9:20 - 9:40	イントロダクション		ACCセンター長
9:40 - 10:40	HIV感染症の基礎とデータの見方		ACC医師
10:50 - 11:50	抗HIV薬の基礎知識・薬剤師の役割		薬剤部
11:50 - 12:30	昼休み		
12:30 - 13:00	薬物相互作用の管理		薬剤師
13:10 - 14:10	抗HIV療法（ガイドライン）		ACC医師
14:20 - 15:00	HIV感染症診療における社会資源の活用		ソーシャルワーカー
15:10 - 16:10	日和見疾患総論・免疫再構築症候群		ACC医師
16:20 - 16:50	HIV感染者の入院・外来看護		専門外来師長
16:50 -	ACC外来見学（希望者）		専門外来師長

総合同会

2日目（金曜日）

時 間	講 義 内 容	講師氏名	役 職
8:50 - 9:00	集合・受付		
9:00 - 9:40	HIV感染症診療における包括ケア		コーディネーターナース
9:50 - 10:20	HIV感染症診療における心理士の役割		心理療法士
10:30 - 11:30	HIV感染症の検査と告知		ACC医師
11:30 - 12:20	昼休み		
12:20 - 13:00	抗HIV薬による感染予防（曝露事故対応）		ACC医師
13:10 - 14:00	性感染症		ACC医師
14:00 - 15:00	総合討論・質疑応答		ACCスタッフ

総合同会

2017年度 アップデートコースプログラム

2017年9月22日（金）

会 場：5階大会議室

時 間	講 義 内 容	講師氏名	役 職
9:00 - 9:20	集合・受付		
9:20 - 9:25	開会挨拶		
9:25 - 9:30	オリエンテーション		研修相談係
9:30 - 10:30	最新の治療ガイドライン		ACC医師
10:40 - 11:40	最新の薬剤情報・薬物相互作用の考え方		薬剤師
11:40 - 12:20	昼休み		
12:20 - 13:20	最近の話題		ACC医師
13:30 - 14:30	ケーススタディ		ACC医師
14:30 - 15:30	総括・質疑応答		ACCスタッフ

総合同会

2017年度 1ヶ月コース プログラム

第1週	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
午前	1週間コース(看護師等:外来実習)と同じ	1週間コース(看護師等:外来実習)と同じ	1週間コース(看護師等:外来実習)と同じ	9:00 - 12:30(ケア支援室) 1ヶ月研修オリエンテーション	1週間コース(看護師等:外来実習)と同じ
午後				1週間コース(看護師等:外来実習)と同じ	
第2週	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
午前	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習
午後	16:00 - 17:00(ACC会議室) ケアミーティング	14:00 - 16:00(ACC会議室) 外来カンファレンス	14:00 - 16:00(12階東病棟) 入院カンファレンス、病棟回診	15:00 - 16:00(ACC会議室) ①高齢者の認知症事例へのアプローチ/調整	13:00 - 14:00(ACC会議室) ②外国人症例へのアプローチ/CN 15:30 - 17:00(ACC会議室) カルテミーティング
第3週	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
午前	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習
午後	16:00 - 17:00(ACC会議室) ケアミーティング	14:00 - 16:00(ACC会議室) 外来カンファレンス	14:00 - 15:00(ACC会議室) ③HIV/結核合併症例へのアプローチ/CN 15:30 - 16:30(ACC会議室) ④女性症例へのアプローチ/CN		13:00 - 14:00(ACC会議室) ⑤医療連携のプロセス/CN 15:30 - 17:00(ACC会議室) カルテミーティング
第4週	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
午前	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30～ CN活動実習	8:30 - 12:00 1ヶ月研修まとめ・修了証授与
午後	14:30 - 15:30(ACC会議室) ⑥在宅療養支援のプロセス/調整職 16:00 - 17:00(ACC会議室) ケアミーティング	14:00 - 16:00(ACC会議室) 外来カンファレンス	14:00 - 16:00(12階東病棟) 入院カンファレンス、病棟回診	14:00 - 16:00(ACC会議室) 事例発表・評価	

2017年度 周産期・小児医療コースプログラム

2017年11月10日（金）

会 場：

時 間	講 義 内 容	講師氏名	役 職
12:30 - 13:00	集合・受付, ACC紹介DVD上映		
13:00 - 13:05	開会挨拶		
13:05 - 13:10	オリエンテーション		研修相談係
13:10 - 13:40	HIV感染症と抗HIV療法		ACC医師
13:40 - 14:10	HIV感染妊婦の産科管理		産科医師
14:10 - 14:20	休 憩		
14:20 - 15:00	HIV感染妊婦から出生した児の管理		新生児科医師
15:00 - 15:10	休 憩		
15:10 - 15:40	HIV感染妊婦の周産期ケアと分娩		産科病棟看護師
15:40 - 16:00	HIV感染妊婦と出生児に対する支援		コーディネーターナース
16:00 - 16:10	休 憩		
16:10 - 16:50	総合討論・質疑応答		産科・小児科・ACCスタッフ
16:50 - 17:00	閉会挨拶		

2017年度 地域支援者コースプログラム

2017年10月20日（金）

会 場：

時 間	講 義 内 容	講師氏名	役 職
10:00 - 10:15	集合・受付		
10:15 - 10:20	開会挨拶		
10:20 - 10:30	オリエンテーション		研修相談係
10:30 - 11:20	HIV感染症の治療		ACC医師
11:30 - 12:10	HIV感染症診療における社会資源の活用		ソーシャルワーカー
12:10 - 13:00	昼食・休憩		
13:00 - 14:00	HIV感染者/AIDS患者の療養支援		コーディネーターナース
14:10 - 15:40	ワークショップ		コーディネーターナース
15:40 - 16:00	質疑応答		ACCスタッフ

総合司会

看護支援調整職

**国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター研修申込書（記入例）**

作成日 2017年4月1日

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター理事長 殿

住 所 東京都〇〇区〇〇町〇〇

施 設 名 〇〇総合病院

施 設 長 〇〇 〇〇

印

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター研修 募集要項に基づき、下記の者の申込をいたします。

フリガナ	ケンシュウ ハナコ
氏名	研修 花子
生年月日	2017年1月1日
性別	☐ 男 ☒ 女
職種	医師
所属部署・役職	総合診療科 医長

希望コース	1週間コース(5日間)【医師】※		
※ 1週間コース／歯科コース／短期コースをご希望の場合、受講可能な回をお選び下さい。(複数選択可)			
☒ いずれも可			
☐ 第1回(6月5日～6月9日) ☐ 第2回(7月3日～7月7日) ☐ 第3回(9月11日～9月15日) ☐ 第4回(10月2日～10月6日)			

施設担当者記入欄			
郵便番号	100-XXXX		
住所	東京都〇〇区〇〇町〇〇		
施設名	〇〇総合病院		
担当部署	庶務課		
担当者	研修 太郎		
Tel	03-XXXX-XXXX	内線	XXXX
FAX	03-XXXX-XXXX		
E-mail	kensyu@XXXX.XX.jp		

受付確認

氏 名	研修 花子
-----	-------

本人記入欄	
緊急連絡先	090-XXXX-XXXX
E-mail	hanako@XXXX.com
	緊急連絡の可否 1. 可
専門領域	総合診療、感染症内科、肝炎、透析、緩和医療
HIV感染症/AIDSに関する診療経験・研修受講実績等	
診療（等）経験	1. 有（経験年数：2年，症例数：約10例）
研修受講実績	1. 有（下欄に概要をご記載下さい）
受講した研修の概要	2015年〇月 日本エイズ学会認定講習会（医師） 2016年〇月 ACC研修 短期・基礎コース
研修希望理由	〇〇〇〇
流行性ウイルス性疾患に関するワクチン接種状況・抗体価の確認について	
ACC研修は国立国際医療研究センター病院敷地内で開催されるため、研修受講が決定した方には、センターの規定に従い「易感染性患者入院診療科病院実習誓約書」を提出していただきます。 4種類の流行性ウイルス性疾患（麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎）に関して、抗体陽性*の記録、あるいは2回のワクチン接種歴を、規定の書式に記載していただきます（募集要項最終ページをご参照下さい）。基準を満たさない場合、研修にご参加いただくことはできません。 * 抗体陽性基準：EIA法16以上/PA法1:256以上（麻疹）、EIA法4以上/IAHA法1:4以上（水痘）、EIA法8以上/HI法1:32以上（風疹）、EIA法4以上（流行性耳下腺炎） 「易感染性入院診療科実習誓約書」は、受講決定後、受講決定通知書とともに事務担当者宛に送付します。免疫不全などの理由で基準を満たさない場合など、特段の事情がある場合には研修相談係まで早めに御相談下さい。	

施設長記入欄	
推薦理由	1. 現在 HIV感染症/AIDS診療等の担当者
所属施設の区分	3. 拠点病院
ウイルス疾患指導料算定の可否	2. 不可
（算定不可の場合 その理由）	2. 現在、人員・設備などの施設基準を満たしていないが、今後、施設基準要件取得を検討していく予定である。